

建災防宮城県支部からのお知らせ

令和3年10月1日

全国労働衛生週間！

週間：令和3年10月1日～10月7日
向き合おう！こころとからだの健康管理

全国労働衛生週間は、今年で72回を迎えました。
経営トップをはじめとした関係者の皆様には、職場巡視や衛生管理点検を実施していただき、心身ともに安全・安心に働けるよう健康管理、職場環境改善について、一層のお取組をお願いします。



(実施要綱は建災防本部HPか「建設の安全(号外)」(先月配布)をご覧ください。)

第58回 全国建設業労働災害防止大会(京都大会)はハイブリット方式となります。

新型コロナウイルス感染症は予断を許さない状況であることから、標記京都大会は、現地集合開催とオンライン(ライブ・オンデマンド配信)による参加を併用したハイブリット開催となりました。詳しくは、建災防本部のホームページをご覧ください。

《開催日》 令和3年10月7日～8日

＜大会スローガン＞「仲間の命を守るため 小さな危険も見逃さない 安全確保に妥協なし」



10月は「年次有給休暇取得促進期間」!

御存知ですか?労働基準法により

- 法定の年次有給休暇の付与は、法律上の義務です。
- 年5日の年次有給休暇を確実に取得させることが必要となりました。(2019年4月より)
- 労使協定を結べば、計画的付与制度を適用して、計画的に休暇取得を割り振ることができます。
- 労使協定を結べば、年5日の範囲で、時間単位の所得が可能です。

詳しくは厚生労働省・宮城労働局のHPをご覧ください。

宮城県最低賃金が改定されました!
令和3年10月1日から 時間額 853 円に

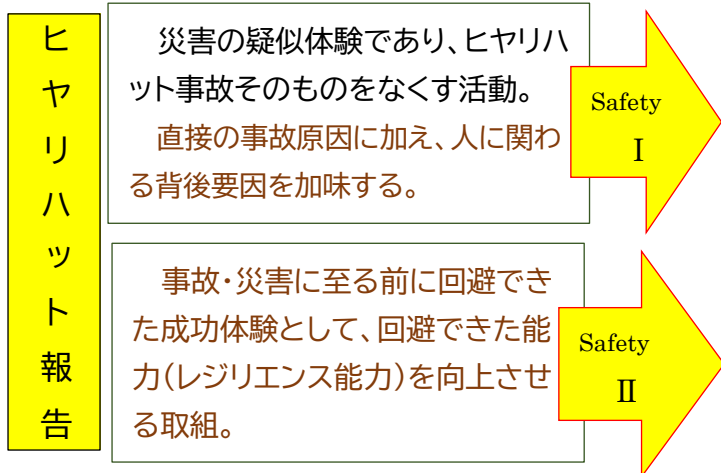
(9月30日までは時間額 825 円)

月給制等との比較、諸手当の算入等最低賃金の計算方法は、宮城労働局賃金室・監督署に御確認ください。

建設現場の新たな災害防止対策－レジリエンス能力を高め、災害ゼロを目指す！ 建災防方式「新ヒヤリハット報告」のすすめ

労働災害の原因には、人に関わる要因（作業負荷・心身の状態・コミュニケーション等）が大きく関わっています。建災防では、「ヒヤリハット」を単なる失敗事例ではなく、事故を回避できた成功体験でもあると位置づけ、これまでの再発防止対策に加え、回避できた能力（レジリエンス能力）を向上させる「新ヒヤリハット報告」を提案しています。

（新たな視点）



作業内容	敷石を敷設作業中、厚い石材をベビーサンダーで切断する加工を行っていたところ、サンダーがはねて顔に当たりそうになった			
型	切られそうになった	災害想定レベル	6	
発生原因	・決められたルールを守らなかった ・道具の選定に問題があった		背後要因	・工期が迫っていた ・疲れていた
対策	・ルールどおりに現場では石材加工をしない ・厚みのある石材をベビーサンダーで加工しない ・事前に材料の確認を行う		・工期や人員配置を適正化する ・「健康 KY と無記名ストレスチェック」を実施する	
グットリカバリー	・親方からサンダーを使う時は斜めに構えろと教えられていて、それを守った ・「何かあるかもしれない」と予測して注意しながら作業していた			
レジリエンス能力	予測	注視	対処	学習
	サンダーが跳ねるかも予測	サンダーの状況を注視	跳ねたサンダーが当たらないように斜めに構えて対処	親方の教えや他者の事例から学習
得点	仕事の要求度(量的負担)	仕事の数量(コントロール)	上司の支援	同僚の支援
	12.0点	12.0点	6.0点	9.0点
			ワーク・エンゲイジメント	6.0点



詳しくは建災防本部ホームページの「メンタルヘルス対策」サイトをご覧ください。

宮城県内労働災害（建設業関係）の発生状況（令和3年1～8月（速報値））

宮城労働局発表より

業種	年	令和元年 全期		令和2年 全期		令和2年 8月末		令和3年 8月末		前年同月比較			
		死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷		死亡	
										増減数	増減率 %	増減数	増減率 %
全産業計		2432	17	2407	15	1384	8	1759	6	+375	+27.1	-2	-25.0
建設業		352	7	283	3	169		189	3	+20	+11.8	+3	
土木工事業		111	4	94	1	47		69	2	+22	+46.8	+2	
建築工事業		191	3	156	2	93		91	1	-2	-2.2	+1	
鉄骨・コンクリート造 家屋建築工事業		48	1	46	2	22		36	1	+14	+63.6	+1	
木造家屋建築工事業		80	2	59		35		38		+3	+8.6		
建築設備工事業		19		19		9		10		+1	+11.1		
その他の建築工事業		44		32		27		7		-20	-74.1		
その他の建設工事		50		33		29		29					

災害件数は令和3年8月末までに確認できた労働者死傷病報告(休業4日以上)により計上しています。死亡件数は内数となっています。



建設業労働災害防止協会 宮城県支部

〒980-0824 仙台市青葉区支倉町2-48 宮城県建設産業会館5階

電話 022-224-1797 Fax 022-265-5604